

## 景観施策の取組みについて

1. ここに残る景観展(令和5年度)【ここに残る景観資源発掘プロジェクトより】  
景観資源を発掘、蓄積、共有し、指定することで市民意識の高揚を図り、良好な景観に寄与することを目的に、平成24年度から令和4年度まで毎年テーマを変えて実施してきたプロジェクトにおいて、これまでに指定した景観資源すべてを市内巡回展示。



◆内容 これまでに指定した106の景観資源  
※歴代の岸和田市都市景観賞の展示も併催

◆展示期間と場所

9月30日(土)～10月18日(水)

岸和田だんじり会館

10月19日(木)～10月27日(金)

岸和田市桜台市民センター

11月2日(木)～11月16日(木)

岸和田カンカンベイサイドモール WEST2階

11月17日(金)～11月30日(木)

岸和田市総合体育館



2. 錨モニュメントの管理 (景観資源をつくりだす)

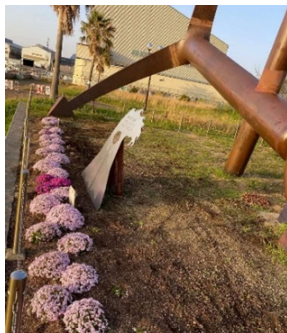


◆昨年度以降の取組み

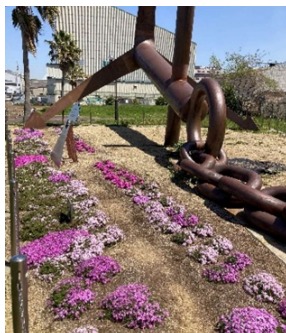
- ・シバザクラ植樹面積の拡大、除草・落書き対応等の維持管理
- ・6月1日景観の日に市ホームページで取組み紹介
- ・PRとして、市ホームページ上に専用Webサイトを作成し、随時更新

◆今後の方向性

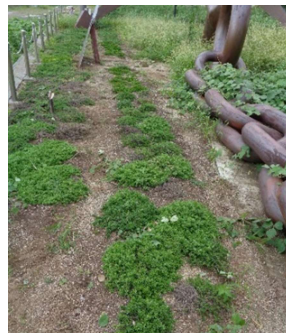
継続的に維持管理し、新たな景観資源として周知



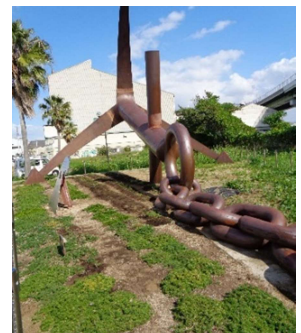
(R4. 4. 25 撮影)



(R5. 4. 10 撮影)



(R5. 8. 30 撮影)



(R5. 10. 28 撮影)

### 3. 地域連携プログラム（LPP）活動報告

#### ぶらり岸和田景観なぞときラリー ～進め！わくわく発見隊～

- ・実施主体：和歌山大学観光学部 LPP（地域連携プログラム＊）  
学生 10 名＋イベント協力の学生 2 名＋担当教員（堀田祐三子教授）  
（協力 岸和田市まちづくり推進部都市計画課 景観担当）  
＊地域活性化に関心を持つ学生が、観光学部教員と受入地域で作成した活動計画を基に、現地に足を運び、地域と連携しながら地域の課題や調査活動等に取り組む活動
- ・日時：令和5年11月12日（日）10:00～16:00（最終受付 15:00）  
※秋のどんちゃかフェスタ及びオープンカフェ（歩行者専用道路を活用した市の賑わい創出事業）とのコラボイベントとして開催
- ・場所：南海岸和田駅 西側エリア（岸和田城周辺）
- ・目的：「ここに残る景観資源」を広く活用すると共に、市内外問わず多くの方へ認知させるきっかけとすることを目的とする。
- ・コンセプト：景観資源を知ってもらうための謎解きウォークラリー～普段の風景が景観資源であると知ってもらおう～
- ・詳細：謎解きをしながら岸和田市内にある景観資源を巡るウォークラリー。GPSによるデジタルスタンプラリー（スマートフォン使用）も活用して景観資源を巡り、デジタルスタンプを集めてもらう（取得数に応じて景観資源にちなんだ景品等を贈呈）。道中の中継スポットでは、景観資源や岸和田に関するクイズを出題し、参加者に岸和田の景観資源や歴史的資源について知ってもらう仕掛けも設けている。  
※イベントコースの中継スポットとして「ここに残る景観展」も加え、足を運んでもらうことで周知
- ・周知方法：小中学校や協力団体へチラシ配布・配架  
岸和田市・和歌山大学のホームページや SNS 等への掲載
- ・参加人数：参加者 175 名、ゴール達成者 50 名
- ・総括：悪天候にもかかわらず、多くの方々に参加いただき、岸和田の景観について知っていただくよい機会となった。ゴール後に回答いただいたデジタルアンケートでは、事前にイベントを知って来られた方（チラシ・HP・広報誌・口コミ）が8割と多かったものの、「ここに残る景観資源」を知らなかった方が半数以上であったこと、すべての回答者が今回のイベントで景観に興味を持った（とても興味を持った・少し興味を持った）と回答いただいたことから、今回のイベントは景観啓発に有効なものであったのではないかと感じた。満足度も9割以上の方に満足（とても満足・やや満足）と回答いただいた。



ぶらり岸和田景観なぞときラリー 冊子

#### 4. 景観資源 100 選冊子

平成 24 年度から令和 4 年度まで実施してきた「こころに残る景観資源発掘プロジェクト」において、これまでに指定した 106 の景観資源を掲載した冊子を作成。



景観資源 100 選冊子 表紙



こころに残る景観資源発掘プロジェクト  
指定資源一覧

#### ◆課題（令和 5 年度第 1 回景観審議会でのご意見）に対する取組み

- ・ A 5 サイズでは小さく感じる  
⇒サイズ変更は予算上難しいため、冊子に QR コード（上記参照）を記載することで、市ホームページ上の「こころに残る景観資源発掘プロジェクト」サイトへの誘導を促し、使いやすさを改善。フォントサイズも調整。
- ・ 時代のニーズに応え、紙媒体より Web サイトを充実させるべきではないか  
⇒冊子の各紹介ページにも QR コードを記載し、専用サイトの各紹介ページへリンク付け。また、リンク先の紹介ページには、周辺地図として Google マイマップを掲載し、内容の充実をはかる。

## 5. その他

岸和田市景観ウォーキング【塔原町の桜】（広報、ホームページで PR 予定）

【塔原町の桜】

平成 24 年 ころに残る景観資源発掘プロジェクト  
（樹木①）にて指定

平成 29 年 岸和田市景観重要樹木指定第 2 号



（令和 5 年 3 月 31 日撮影）

- ・ イベント内容：大阪府の健康活動マイレージアプリ「アスマイル」を用いたウォーキングイベント。市立葛城上地区公民館（塔原町）に設置された QR コードを「アスマイル」で読み取ることで、ポイントをためることができる。多くの方に、塔原町の桜を訪れていただき、健康増進とともに景色を楽しんでいただく。
- ・ イベント期間：令和 6 年 3 月 23 日（土）～ 4 月 7 日（日）（予定）

### ビュースポットおおさか（大阪府事業）

大阪府が、世界に誇れる大阪の魅力ある景観、個性豊かで美しく眺めることのできる場所を一般より募集・選定・発信することで、府域全体を良好な景観にしていく取り組み。

令和元年以降、3 回の募集を経て府内 80 か所が選定され、令和 5 年度内に 20 か所を追加し、合計 100 か所のビュースポットを選定予定。令和 6 年度は、万博開催やインバウンドの復活による国内外の旅行客に対して、大阪の魅力コンテンツの一つとして景観資源の魅力発信を強化するとともに、景観資源を活用して万博の機運醸成を図る。

【岸和田市選定箇所】 ※第 4 回（2023 年）については、現在選考中。



第 1 回（2019 年）

「岸和田城を眺める岸和田高校前」



第 2 回（2021 年）

「街道のまちなみを眺める  
岸和田本町紀州街道」



第 3 回（2022 年）

「桜並木を眺める久米田池遊歩道」